

## 東京金融取引所(TFX)セッション「くりっく365」「くりっく株365」



東京金融取引所  
南出 幸秀氏

FX投資を始めたいという方におすすめしたいのが、「安心」「透明」「信頼」の公的取引所FX「くりっく365」です。通常のFX取扱会社が行う店頭での相対取引ではなく、取引所を通す取引ですので、初心者の方でも安心して投資を始められると思います。「くりっく365」の特徴は、厳格な資格要件を満たした取扱会社を選定し、投資家の皆様の証拠金は全額、東京金融取引所がお預かりし保全すること、通貨のスプレッドの狭

さが業界の中でもハイレベルな水準にあることなどが挙げられます。口座数・証拠金残高は国内では圧倒的なシェアを誇っています。

日本株の投資を始めたい方におすすめしたいのが、株価指数に投資する「くりっく株365」です。日経平均株価×100円の取引単位を、レバレッジを効かせた証拠金取引で行うことができます。例えば、2013年6月24日の日経平均を取引する場合、1万3014円×100円(1枚)=130万

1400円の取引を、証拠金基準額8万4000円で取引ができます。資金効率がよい反面、大きな損失が出る可能性もあるので、リスクコントロールが必要です。また配当も受け取ることができます。2012年4月から2013年3月まで1枚保有していた場合、配当だけで2万603円、得ることができます。値上がり益以外の収益も見込めるのです。

FXなら「くりっく365」を、日本株なら「くりっく株365」をぜひご利用ください。

## 東京商品取引所(TOCOM)セッション「円建ての金先物取引」



東京商品取引所 広報部  
小淵 大樹氏

東京商品取引所はコモディティ投資を取り扱う取引所です。様々な商品を扱っている中、2012年の総取引高において57.7%を占めたのは金の取引です。金の関心が高まっていることが伺えます。

金投資には、金地金を購入、ETFに投資、商品先物取引の主に3つがありますが、東京商品取引所では先物取引を取り扱っています。先物取引のメリットは、少ない資金で大きな取引ができるレバレッジを効かせることができること、

今後、価格が下がると予想する場合には、売りからも入れることです。その分、ハイリスク・ハイリターン取引ではあまらず、余剰資金で無理のない範囲で投資をすべしと思えます。

先物取引ではありますが、現物決済すれば金地金を取得することもできます。例えば6月25日の価格で金1kgを買い付けた場合、先物取引を利用した場合の購入費用合計金額は422万3205円となり、貴金属地金商の店頭で購入するより5万

8795円安くなります。こうした使い方もできます。

東京商品取引所が取り扱う金、石油関連、ゴム、農作物といったコモディティは、株や為替とは違う値動きをする場合が多く、分散投資の一助として期待ができます。コモディティの先物取引は、商品先物取引会社に口座開設を行い、その会社を通じて証拠金を清算機関に預託して始めることができます。ぜひこの機会にご検討ください。

## WGCセッション「金のファンダメンタルズをあらためて考える」



ワールド ゴールド カウンシル 日本代表  
森田 隆大氏

金市場が大きく揺れ動いています。今後の金市場の動向を占う上で、6つの構造要因を見ることが重要です。1つ目はドルに対する信認。金はドルと逆相関になるケースが多く、今後、ドルが信用できるのか、できないのかによって金価格の動向が見えてきます。2つ目はソブリンリスク。今まで安全だと思われていた先進国の国債が不安視されるようになると、金価格は上昇する傾向にあります。先進国の財政赤字問題はどうか注目点

です。

3つ目はインフレ懸念。量的緩和の出口戦略がうまくいかず、インフレを招いた場合、金はインフレヘッジとしての役割が期待できます。4つ目は中央銀行の購入。このところ中央銀行が金の購入を増やす傾向にあります。無国籍通貨としての金の価値に重きを置いているからでしょう。5つ目は、中国・インドの実需の需要増。これらの国々では金を宝飾品として、またいつでも身に付けて持ち出せる資産として

重宝する傾向にあり、金価格が下落すると購入を増やすことが多くなっています。6つ目は、機関投資家の参入。これまであまり金投資をしていなかった機関投資家が、テールリスクのヘッジや分散投資の効果をおよぼすために、金を保有する傾向が近年増えてきました。

これら6つの要因を分析すると、今後の金価格がどのように動くのかが見通しやすくなります。中長期で金市場を考えると投資家には必要でしょう。

当資料は、ゴールドニュース事務局がセミナーの様態を伝えることを目的に作成したものです。セミナーは投資判断の参考となる情報の提供を目的としています。実際に投資される場合の最終決定は、ご自身で行っていただくようお願い致します。各種情報の内容については万全を期していますが、その内容を保証するものではありません。また、将来の予測はその結果を保証するものではありません。

### TOKYO GOLD FESTIVAL2012

より深く学びたい方のためのスピノフセミナー Vol.5  
「金×株×為替×経済:スペシャリスト対談」

開催日時:2013年7月6日(土)

会場:東京・御茶ノ水 ソラシティ

主催:東京金融取引所 東京商品取引所

ゴールドフェスタ事務局

後援:ワールド ゴールド カウンシル 日本商品先物振興協会

企画・運営:株式会社社想研、キャピタル・エフ株式会社

### The Seminar Press

お問い合わせ先

キャピタル・エフ株式会社

ゴールドニュース事務局

東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

E-mail:goldnews.jp@gmail.com

# The Seminar Press

2013年(平成25年)

7月12日発行

ゴールドニュース事務局  
http://goldnews.jp/

主催  
東京金融取引所  
東京商品取引所  
ゴールドフェスタ事務局  
後援  
ワールド ゴールド カウンシル  
日本商品先物振興協会



# 金×株×為替×経済 スペシャリスト対談

## ～揺らぐ時代の投資戦略を考える4時間～

異次元の金融緩和をはじめ3本の矢を引っさげたアベノミクスにより、日本株市場は乱高下しています。アメリカでは量的緩和の出口戦略がささやかれ、米国株市場も大きく変動しています。各国の金融政策に振り回される形で、無国籍通貨の金は下落傾向が続いています。この先、金、株、為替、経済はどうなっていくのか。2013年7月6日に東京・御茶ノ水のソラシティで行われたセミナーの様態をご紹介します。

### 強いアメリカ経済 さらなるドル高続く

大橋 アメリカの6月の雇用統計は、予想以上により結果となりました。これを受けて、アメリカでは株高・ドル高が進んでいますが、今後もこの動きは続くのでしょうか?

池水 アメリカ人勝ちの様相がかなり強くなってきました。私の金融関係者の知人は、他の資産は売り払って、「Buy dollar」とにかくドルを買えと連呼していま

す。ドルが投資対象として注目されるほど、ドル一辺倒の機運がマーケットに漂っているように感じます。

大橋 量的緩和の縮小が7月または9月に始まるのではないかと見方をする人も出てきましたが、どう思いますか?

亀井 さすがに早期に縮小するのは無理でしょう。今まで量的緩和でマーケットにお金をジャブジャブしたおかげで水ぶくれした経済です。これまで株価や経済を支えてきたQEというサポートをいきなり外すのは相当、怖いことでしょう。少なくとも

7年内に縮小はないと考えます。

深谷 現在のドル高は量的緩和の縮小観測のみならず、シェール革命が中期的なドル高に寄与し始めている部分も大きいとみえています。ファンダメンタルズを背景に海外からの投資資金の流入がドル高をもたらしている。S&Pの株式益回り水準を見ても6%前後で、なお米国株には魅力があります。またドルはこれまでが安すぎたという面もあります。米国株高、ドルはしばらく続くのではないのでしょうか。

亀井 確かにアメリカの景気は回復して

います。しかし、BRICsを中心とした新興国経済が低迷しています。特に量的緩和の出口戦略が近いとの予測から、アメリカの金利が上昇し、新興国からマネーが逃げています。新興国の低迷はやがてアメリカはじめ先進国にも深刻な影響を与えるのではないかと懸念しています。大橋 新興国では中国のシャドーバンキング(影の銀行)問題が取り沙汰されていますが、新たな金融危機を引き起こす可能性はないのでしょうか?

深谷 グローバルなリスクにはならないで



スタンダードバンク  
東京支店長  
池水 雄一氏

1962年兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディスイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年同東京支店で支店長に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプラチナ(貴金属)ディーラーでブルース・池水氏のディーラー名)の名を知らない人はいない。



FPG証券代表 /  
為替アナリスト  
深谷 幸司氏

1984年東京大学法学部卒業後、三菱銀行に入社。1987年5月より資金証券部に円債券ディーリングに従事。1995年5月為替資金部に異動。為替アナリストの後、チーフアナリスト就任。2007年ドゥン証券シニア為替ストラテジスト、2010年よりクレディスイス証券デリクター(債券本部)外国為替調査部長。2012年10月にオフィスUKAYAを立ち上げ、為替アナリスト活動を中心に企業・個人へのコンサルティング開始。2013年3月FPG証券代表取締役就任。



マーケット・ストラテジ・インスティテュート代表 /  
金融・貴金属アナリスト  
亀井 幸一郎氏

和歌山県生まれ。1979年中央大学法学部卒業。山一証券に8年間勤務後、1987年投資顧問会社で日本初のFP会社MMI入社。1992年ワールド ゴールド カウンシル(WGC/本部ロンドン)入社。企画調査部長として経済調査、世界の金情報収集、マーケット分析、国内市場調査に従事。1998年独立開業。2002年より現職。「史観と俯瞰」をモットーに金融市場から商品市場、国際情勢まで幅広くウォッチ。



フリーアナウンサー  
大橋 ひろこ氏

ラジオNIKKEI「マーケットレンド」キャスター。マーケット関連、特にデリバティブ関連に造詣が深い。貴商事務株式会社が提供する動画マーケット情報サービス「YMTV」の準専属キャスターとして出演中。コモディティやFXなどの経済番組のレギュラーを務める傍ら、自身のトレード記録もメディアを通じて赤裸々に公開中。特にデリバティブ関連に造詣が深く、ラジオ、セミナーでは投資家目線の進行に定評がある。投資関連モデルレーターのスペシャリスト。